

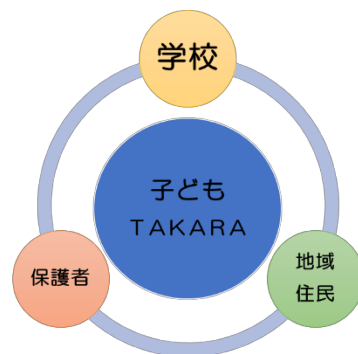
# 地域とともにある 宝塚コミュニティ・スクール

～学校・家庭・地域の連携を～

宝塚市教育委員会 令和4年（2022年）7月

子どもの豊かな育ちと学びを創造するためには、学校と地域の人々（保護者・地域住民など）が目標を共有し、一体となって教育活動に取り組むことが必要です。

コミュニティ・スクールにより、学校と地域の人々が「地域でこんな子どもを育てたい」という『めざす子ども像』に向かって、学校と地域が一体となり、地域の TAKARA（宝）である子どもを育てるために熟議と協議を重ね、学校運営に参画することを目指します。

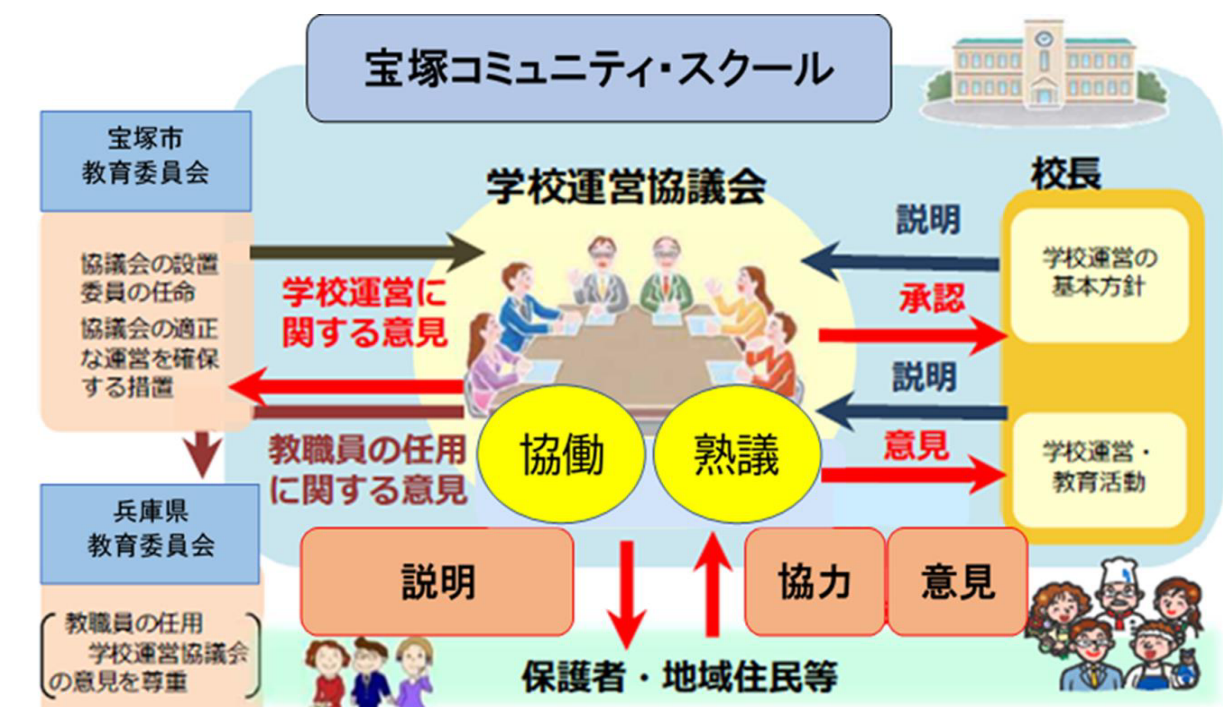


## ①コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは「**学校運営協議会**」を設置している学校を指します。

### 学校運営協議会の主な役割

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
  - 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
  - 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項（※）について、教育委員会に意見を述べることができる
- ※個人を特定して行うものを除く



学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長の代わりに学校運営を決定、実施するものではありません。

## ②コミュニティ・スクール導入のメリット魅力

### (1) 組織的・継続的な体制の構築＝ 持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「持続可能な仕組み」です。

### (2) 当事者意識・役割分担＝ 社会総掛かり

校長が作成する学校運営の「基本方針の承認」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識をもち、「役割分担をもって連携・協働による取組」ができます。

### (3) 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

学校運営協議会や熟議の場を通して、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」できます。

## ☆子ども・学校・家庭・地域にとってのメリット

子どもにとって	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもたちの学びや体験活動が充実します。</li> <li>● 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。</li> <li>● 地域の担い手としての自覚が高まります。</li> <li>● 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。</li> </ul>
教職員にとって	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。</li> <li>● 地域人材を活用した教育活動が充実します。</li> <li>● 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。</li> </ul>
保護者にとって	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。</li> <li>● 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。</li> <li>● 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。</li> </ul>
地域の人々にとって	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。</li> <li>● 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。</li> <li>● 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。</li> <li>● 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。</li> </ul>